

## ■5月8日

## PEACH(LCC)、累計搭乗者数、200万人を突破

ピーチ・アビエーションは7日、累計搭乗者数が200万人を突破したと発表した。低運賃で需要を掘り起こし、目標より1カ月早い達成となった。今夏には現在の8機から、10機に保有機を拡大し、今後1年間で、400万人の搭乗者を獲得する目標を掲げている。

ピーチは、昨年3月、関空と福岡、札幌を結ぶ2路線で運航をスタート。同5月には関空ーソウル線で国際線にも進出し、同11月に累計の搭乗者が100万人を超えた。100万人達成には約9カ月かかったが、200万人はそれから約5カ月で達成した。

同時に、ピーチは、200万人達成記念として、国内線7路線、国際線2路線を対象として、片道2980円からのセール運賃を発表し、5月8日0時から発売を行う。

(産経ニュース)5/7

<http://sankei.jp.msn.com/economy/news/130507/biz13050718100019-n1.htm> (->

<http://sankei.jp.msn.com/economy/news/130507/biz13050718100019-n1.htm>)

(PEACHプレスリリース)5/7

<http://www.flypeach.com/Portals/1/PressReleases/2013/130507-Press-Release-J1.pdf> (->

<http://www.flypeach.com/Portals/1/PressReleases/2013/130507-Press-Release-J1.pdf>)

<http://www.flypeach.com/Portals/1/PressReleases/2013/130507-Press-Release-J2.pdf> (->

<http://www.flypeach.com/Portals/1/PressReleases/2013/130507-Press-Release-J2.pdf>)

## 新千歳空港、4月、外国人入国者数、前年同月比41%増

札幌入国管理局が7日発表した新千歳空港の4月の外国人入国者数は2万6700人と、前年同月比41%増えた。増加は3カ月連続。円安傾向を背景に、台湾や香港からの旅行者が引き続き好調なうえ、タイなど東南アジアが伸びている。日経が報じた。

海外定期便は前年比7機多い231機、海外旅客チャーター便は前年と同じ12機だった。1~4月累計の入国者数は14万8400人と前年同期を15%上回った。

一方、4月の日本人出国者数は29%減の9400人。1~4月でも10%減と伸び悩んだ。

(日経)5/8

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASFC07005\\_X00C13A5L41000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASFC07005_X00C13A5L41000/) (->

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASFC07005\\_X00C13A5L41000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASFC07005_X00C13A5L41000/))

## 静岡空港、GW利用実績、FDA搭乗率80%、全日空56%

フジドリームエアラインズと全日空静岡支店が発表した静岡空港発着便の利用実績によると、GW期間中の搭乗率はFDAが80.8%、ANAが56.2%だった。

フジドリームエアラインズの利用者数は5406人。路線別では鹿児島便が92.9%と最も高く、福岡便79.7%、札幌便79.1%。

一方全日空の利用者は4351人。路線別では札幌便が49.2%、沖縄便が63.1%だった。

(静岡新聞)5/8

<http://www.at-s.com/news/detail/618048073.html> (-> <http://www.at-s.com/news/detail/618048073.html>)

## 国内航空各社、GW利用実績、PEACHが高搭乗率

国内航空各社は7日、GW中(4月26日～5月6日)の利用者数を発表した。

これによると、日航と全日空の国際線利用者数はともに前年よりも減少した。また、国内線利用者数は日航が前年比1.7%増。全日空は前年実績に0.9%届かなかった。一方、ピーチ・アビエーションは6万9037人で前年の約2倍に達した。

既存新規航空会社は、4社とも提供座席が増加した。このうち3社は旅客数が増加したが、AIRDOは前年割れだった。

LCC3社では、ピーチ・アビエーションの国内線搭乗率が9割を超えた。国際線も84.1%と好調。ジェットスター・ジャパンは78.8%だったものの、エアアジア・ジャパンは6割台と差が付いた。

		提供座席数(前年比)	旅客数(前年比)	L/F
ピーチ・アビエーション	国内線	7万5,600席(191%)	6万9,037人(192%)	91.3%
	国際線	2万3,760席	1万9,979人	84.1%
ジェットスター・ジャパン	国内線	9万5,040席	7万4,916人	78.8%
エアアジア・ジャパン	国内線	3万5,640席	2万4,088人	67.6%
	国際線	1万1,160席	1万1,160席	61.2%

(日刊航空)5/8

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)

(日経)5/7

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASDC0700R\\_X00C13A5EA1000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASDC0700R_X00C13A5EA1000/) (->

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASDC0700R\\_X00C13A5EA1000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASDC0700R_X00C13A5EA1000/))

## ボーイング787対応：全日空・日航、11機改修完了

全日空と日本航空の大手2社は7日、ボーイング787型機のバッテリー改修や確認飛行などについて6日時点の状況を発表した。これによると、大手2社の計11機で改修を完了、確認飛行や慣熟飛行による運航が合計75回行われた。これまでのところ、不具合は報告されていない。

全日空は6日現在、保有17機のうち6機で改修済み、8機が改修を実施中、3機で準備中とした。また、6日までに確認飛行と乗員の慣熟飛行をあわせて40回の飛行を実施した。

一方日航は、保有7機のうち成田空港の3機と羽田空港の1機、ボストン空港にある1機の計5機で改修を完了した。このうち3機は、確認飛行(計3回)も終えた。慣熟飛行は32回行われている。

(日刊航空)5/8

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)